

# ■ 棚田の役割 ■

たなだ  
棚田とは、一般に山麓や丘陵及び扇状地などにおいて、自然傾斜を緩和した階段状の水田のことで、地域によっては「千枚田」「谷津田」などと呼ばれています。

中山間地域に広がる棚田は、米作のためだけでなく国土保全においても大きな役割を担っています。それは治水効果や治山効果に優れているからです。例えば岡山県の吉備高原などは、棚田がなければ雨のたびに膨大な土壌の流出を招き続けたに違いないとさえ言われています。河川の上流部に数多く点在する棚田は、まさにダム

の役割を果たしているのです。また、棚田は景観の保全や生態系の維持にも大きな役割を果たしています。

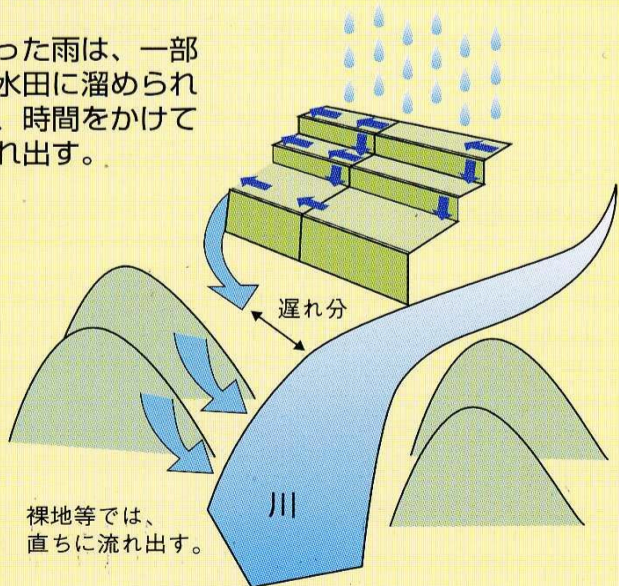
岡山県下の棚田面積は、統計上、全国2位の規模を有しています。本県は、災害の少ない県と言われますが、こんなところにもその秘密があるのかもしれない。

## 棚田の多様な役割

- 食料の生産
- 国土・自然環境の保全洪水防止・土砂流亡防止など
- 水資源のかん養水の貯留／水質浄化
- 保健・休養の場の提供農作業体験を通じた健康・やすらぎなど
- 景観や文化資源の提供独特の景観美／伝統的稲作技術・民族文化など

### 洪水防止機能

降った雨は、一部は水田に溜められて、時間をかけて流れ出す。



### 水資源かん養機能

